



世界に希望を生み出そう

2023～24 年度国際ローター・テーマ
RI 会長:ゴードンR.マッキナリー (スコットランド)

鹿屋西ロータークラブ週報
WEEKLY REPORT
NEWS
<http://www5.synapse.ne.jp/Kanoya24/>
ROTARY 第2066回



ダリア [華麗・優雅・気品・威厳・
移り気、裏切り、不安定]

| | |
|---|---|
| <p><ガバナー公式訪問例会> R5. 9月11日(月) 12:30～ ホテルさつき苑 100%出席で池ノ上ガバナーをお迎えしましょう!!</p> | <p><地区大会> R5. 10月13日(金)～15(日) シーガイア(宮崎) 宮崎に全員集合!! 交流を深めましょう!!</p> |
|---|---|

2023年 09月 11日 [ガバナー公式訪問]

◆ゲスト紹介

RI 第 2730 地区 ガバナー 池ノ上 克 様
鹿児島県東部グループガバナー補佐 上村 裕治 様
RI 第 2730 地区 幹事 佐藤 嘉信 様

◆会務報告

1. 地区職業奉仕委員会研修会のご案内
日時:2023年10月28日(土)13:30～15:30
場所:ニューウェルシティ宮崎
2. 「第5回外国人日本語スピーチコンテスト」
の開催に伴う協賛について(お願い)
*スピーチコンテスト
日時:令和5年10月15日(日)13時～予定
場所:東地区学習センター
3. ご挨拶(第一航空群司令人事異動)
新任:大西 哲様(前任:藤原直哉様)
4. ガバナー公式訪問について(お礼)
5. 公式訪問報告書提出のお願い
6. ハイライトよねやま Vol.282
7. 秋田豪雨災害支援金報告
8. ハワイ州マウイ島山火事への支援について
9. 地区職業奉仕委員会研修会について(ご連絡)
10. 佐土原 RC 事務局変更のお知らせ
11. 10/15(日)トークセッションのご案内
12. RI 第 2730 地区創立 70 周年史の送付ご案内
13. クラブ研修リーダー(クラブ・ラーニングファ
シリテーター) 選任のお願い
- 14 週報 …………… かのや東 RC

15. 9月例会変更のお知らせ(再) …… きもつき RC
19日(火)⇒26日(火) 12:30～ 温泉ドーム
16. 10月例会変更のお知らせ
[串良 RC] 9日(月)祝日につき休会
23日(月)職場訪問予定
[きもつき RC] 10日(火)⇒14日(土)へ変更
例会 12:00～地区大会会場
17日(火)⇒22日(日)へ変更 例会:9:00～
相信高山支店 2F 会議室
やぶさめ祭り 献血運動実施



会長の時間

会長 前田数郎さん
皆様、お疲れ様です。

本日はガバナー公式訪問と成っており、池之上克(イケノウエ ツヨム)ガバナー、佐藤嘉信(サトウ ヨシノブ)地区幹事、上村裕治(カミムラ ヒロハル)ガバナー補佐において頂きました。

本日はお忙しい中また遠い所、我が鹿屋西ロータークラブにおいて頂き誠にありがとうございます。短い時間では御座いますが、どうぞよろしく御願ひ致します。

本日の会長卓話はマイ・ローターから「2025～26年度国際ローター会長にブラジルのデ・カルマゴ氏が選ばれる。」という記事が出ていましたのでご紹介致します。

サントアンドレ・ロータークラブ(ブラジル、サンパウロ)会員のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ



| 次回プログラム | |
|-----------|-------------|
| 10月02日(月) | |
| 卓話者: | 北山 勉 さん |
| 担当委員会: | クラブ研修委員会 |
| 3分間スピーチ: | — |
| 出席報告 | 会員数 (42)44名 |
| | 出席数 39名 |
| | 出席率 92.86% |

| メイクアップ情報 | |
|----------|------------------------------------|
| 鹿屋 | 09月27日 (木)高千穂公園 観月会18:30～ |
| かのや東 | 09月28日 (木)かのやグランドホテル 観月会18:30～ |
| 串良 | 09月25日 (月)セントロ天隅 観月家族会18:30～ |
| 志布志 | 09月26日 (火)大黒リゾートホテル 観月会19:00～ |
| きもつき | 09月26日 (火)高山温泉ドーム 19日⇒26日(火)に変更 |
| 南九州大崎 | 09月28日 (木)いこいの森 いこいの森清掃10:30～ |
| 志布志みなど | 09月27日 (木)大黒リゾートホテル 観月会19:00～ |

| 鹿屋西ロータークラブ | |
|------------|--|
| 会長: | 前田 数郎 |
| 副会長: | 遠矢 達一 |
| 幹事: | 梅北 健一 |
| 例会日 | 月曜日 12:30～13:30 |
| 例会場 | ホテルさつき苑 TEL:40-1212 |
| 事務局 | 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10 ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959 |
| E-mail | kanoya24@po5.synapse.ne.jp |



氏が、会長指名委員会によって2025-26年度国際ロータリー会長に選出されました。対抗候補者がいない場合、9月15日に正式にノミニーとなります。

デ・カマルゴ氏は、トップダウンでロータリーの公共イメージを強化したいと考えています。

「今日のロータリーは、入会者と資金の面で競合相手が多く存在する」とデ・カマルゴ氏。「特にいくつかのゾーンにおいてブランドを若返らせる必要があり、会長が世界中のロータリアンに向けて話せるように、コロナ禍で学んだ会議ツールを活用するべきです。

また、政治、コミュニティ、ビジネスのリーダーとの長期的パートナーシップを確立する必要もあります。

私たちの最大の資産である140万人のボランティアの存在をアピールしていきましょう」と述べます。

デ・カマルゴ氏は 任命とガバナンスのためのロータリーの手続きを改善したいとも考えています。

「ロータリーは、役職に任命する際のシステムをより透明性のあるものとし、明確な資格要件を設け、データに基づいて結果を評価するべきです」

デ・カマルゴ氏は、ブラジルにおける印刷業界のコンサルタントを務めています。印刷とグラフィック業界の関連団体で会長や委員長を歴任し、これにはブラジル・グラフィック・テクノロジー協会やブラジル・グラフィック産業協会が含まれます。所属ロータリークラブがスポンサーしている障害のある子どもたちのためのプロジェクト、(希望の家)の理事も務めており、このプロジェクトで毎年、15万人の障害児を支援しています。

米国ならびにドイツに留学経験があり、ビジネスから法学の学位を取得。1974-75年度にロータリー青少年交換学生として米国ミネソタ州に留学し、以来このプログラムに積極的にかかわっています。1980年にロータリー入会。1981年、24歳でクラブの青少年交換役員を務め、以来、国際ロータリー理事、ロータリー財団管理委員、RIラーニングファシリテーター、委員会委員と委員長、タスクフォースメンバーなどを歴任。妻デニスさんとともにメジャードナー、ロータリー財団ベネファクターとなっています。と記載されていました。

早いもので私が会長と呼ばれるのも残る所、後10か月です。これからの10か月が行事も山盛りと成っています。皆様の更なるご協力よろしく御願ひ致します。

また、本日の卓話は2025~26年度国際ロータリー会長が決まるとの話題でした。鶴丸会長エレクト、刻一刻と会長と呼ばれる時間が近づいて来ます。

素晴らしいメンバーが支えてくれます。会長職もまんざらではないですよ。以上で会長の時間を終わります。ご清聴ありがとうございました。



ガバナーアトレス

RI 第2730地区 ガバナー

池ノ上 克様(宮崎 RC)

国際ロータリー2023-2024年度
ガバナーの池ノ上克(つよむ)です。

私は昭和21年1月に鹿児島市内で生まれました。生後3カ月の時、父の仕事の関係で移住した長崎県で高校までを過ごしました。昭和39年に鹿児島大学医学部に入学し、市内の西千石町にあった母の実家から通学をつづけ、昭和45年に卒業しました。その後は鹿児島市立病院の産婦人科に勤務していました。その間3年半はカルフォルニアの大学での周産期医学の勉強のために留学しましたが、合計26年間の鹿児島生活を送ったこととなります。平成3年に縁あって当時の宮崎医科大学産婦人科に赴任しましたが、それ以来宮崎で仕事を続けています。

この度山ノ内文治直前ガバナーの後を受けて、国際ロータリー第2730地区のガバナーに就任しました。どうぞよろしくお願ひいたします。

新たに国際ロータリーの会長に就任したスコットランドのゴードン マッキナリーさんは、今年度の国際ロータリーのテーマを「Create Hope In The World:世界に希望を生み出そう」とされました。アメリカのフロリダ州オーランドで2023年1月8日から12日にかけて行われた国際ロータリー協議会の初日の講演で、このテーマが力強く宣言されると、会場につめかけた世界中のロータリー関係者はスタンディングオベーションでこれを受け止めました。

講演の中で、ゴードン マッキナリー会長は、2004年に東南アジアを襲った大津波の時、被害を受けたタイの村で、ロータリアンとして復興作業に当たられたそうです。全てを失って憔悴した老婦人から、「皆さんの作業を見ていて、生きる希望がわいてきました。お礼に私が30年来大切にしてきたものを差しあげます」といって美しい貝殻を渡されたそうです。その貝殻は美しい光を放っており、その美しさが今年度の国際ロータリーのテーマカラーに繋がったと説明されました。そしてテーマとなった「世界に希望を生み出そう」の言葉もそこから生まれて来たのだそうです。

さらに、マッキナリー会長は希望を生み育てる土壌は「平和」であり、「メンタルヘルス」の維持はその原点となるもので、私たちはメンタルヘルスの問題に積極的に取り組む勇気が必要であるとも強調されました。

自然災害や戦禍にみまわれ、つらい思いをしている世界の人々にとって、希望を生み出すことの大切さが強調された講演でした。幸いにもその時会場に居合せた私はとても感動してお話を聞くことができました。



クラブフォーラム

ゴードン マッキナリー会長の RI のテーマを受けて、私たちの国際ロータリー第 2730 地区の今年度のテーマは「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」としました。また、基本方針はロータリーの「継続と変化」および「メンタルヘルスへの取り組み」の 2 本柱としました。

ロータリーは継続と変化を基本にして、常に前に進んでいます。私たちの地区の各クラブや各グループの活動も継続と変化およびメンタルヘルスの維持を基本に、ガバナー補佐の方々との連携を密にして、それぞれに独自の形で進めていただきたいと期待しています。

継続と変化の対象になる主な項目には、ローターアクトクラブとの協力体制の強化、女兒のエンパワーメント、DEI の推進、ポリオ根絶などが挙げられます。

そしてその行動計画の実行については、各クラブやグループのこれまでの経緯と成果があると思われるので、それを引継ぎながら、最近の社会的変化に応じた活動を目指していただきたいと思います。

クラブが独自に計画して実行しておられるプロジェクトや、米山記念奨学会への寄付、青少年育成、公共イメージの向上、クラブ奉仕の強化、社会奉仕の実践などが含まれます。ロータリー賞獲得への積極的なチャレンジも期待したいと思います。

メンタルヘルスへについては マッキナリー RI 会長がロータリーに向けて初めて示された取り組みです。RI2730 地区としても活動を始めたいと思います。

自分自身や社会の中におけるメンタルヘルスに関する偏見を無くし、同僚や親しい人に何か心の異変を感じたら、支援の手を差し伸べる勇気をお互いに持ちたいと思います。メンタルヘルスの健全性とその維持は希望を生み出す原点となるものです。

皆様のご支援をいただきながら、2023-2024 年度は平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフにしていきたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。



北山 勉 さん

大石 博資 さん

クラブ研修委員会委員長 北山 勉さん

クラブフォーラム クラブの強みと弱み

本年度、中々卒業を認めてくれなくて 3 年連続でクラブ研修委員会の委員長を務める羽目になりました北山です。本日は、クラブフォーラムのテーマである「クラブの強みと弱み」について、会長命令というかクラブ研修委員長の卒業試験かと思しますので、発表させていただきます。

まず、本日のフォーラムの発表者は、大石さん私で、二人とも 70 歳を超えるクラブでも高齢に属する方ですが、年なんか関係なく命令一つで従わせるのが当クラブのまず一つ目の特徴かもしれません。ひょっとしたら前田会長だからかと思いますが。

役職者からの依頼は断れない雰囲気があり、良い意味でロータリーの精神である返事は、「はい」か「イエス」しかないが活かされていると思います。新年度に際し、組織作りにおいてもほとんどの会員が二つ返事で引き受けていただいております。

さて、初めに当クラブの特徴を捉えている象徴的な事業「2011夏の思い出プロジェクト・INかのや」について発表させていただきます。恐らく入会歴の浅い会員は、このような活動が行われたことを知らない方が多いと思います。今日は、当クラブの歴史を理解していただく機会にもなれば幸いです。

2011年8月、少年サッカーチーム「大船渡三陸 FC シーガル」のメンバー25名が、この鹿屋の地で半年ぶりに青々とした芝生の上でサッカーの試合に溢れんばかりの生き活きとした歓声をあげていました。

そこには、久しぶりに見せる沢山の笑顔がありました。その5か月前、あの大惨事を起こした東日本大震災が発生しました。テレビに映し出される想像を絶する光景に何とかしないとという思いはロータリアンに限らず全ての人々を駆り立てたはずで、その被災地の惨状を見るにつけ、何か出来ないかと当時の窪田会長エレクト、前田幹事予定者を中心に会員も同じ思いでした。ロータリーで行われる災害義援金とは別に何か見える形で支援は出来ないものかとそれぞれの会員が考えていたと思います。

ここで、その時の活動を紹介したテレビニュースの映

像がありますので、先にご紹介いたします。映像には別人のような若かりし前田会長がインタビューにコメントされています。あの当時の熱意が伝わって来そうです。

それでは、ご覧ください。【映像・約7分です】

いかがだったでしょうか。

ご覧の通り前田会長は、当時の熱意をそのまま引き継いで、今年度会長職を全うされると期待をしています。

ところで、なぜ大船渡だったのか。当時、大隅半島の4市5町では復興支援チームがいち早く出来、大船渡市への給水活動が始まっていました。そこで、この大隅と縁のある大船渡の子供たちに笑顔を取り戻せるような企画は出来ないものかと声が上がりました。

資金面や企画の具体的中身など問題は山積していましたが、会長エレクト、次年度スタッフのやらなければならぬという熱き思いを会員みんなが共有し、後先のことは於いて物凄い勢いで動き出しました。

子供たちに元気と笑顔をと「2011夏の思い出プロジェクトINかのや」の始動は、7月から始まるロータリー年度の準備期間での慌ただしい時期で、かつ短期間での出来事でした。恐らく全ロータークラブの中でも災害義援金活動を除くと、8月の実施でしたから、最も早い具体的な行動ではなかったかと思えます。

協力を頂く行政機関、学校、施設、団体など会員のそれぞれの得意とする分野で交渉というよりお願いが始まりました。正に職業奉仕ともいべき職業を通しての繋がり、ほぼ全ての団体で私たちの趣旨を理解し、賛同をいただき、むしろ積極的に協力してもらうことが出来ました。子供たちの宿泊施設の提供、移動に使うバスの手配、施設の使用、見学など多方面にわたりました。その結果は、今ビデオを見てもらった通り正に感動のプロジェクトとなりました。1週間後の全ての事業を無事に終えて、子供たちを見送る際の窪田会長の号泣は、今も忘れることが出来ません。

2年後、サッカー場整備の補助目的で大船渡を訪れ、津波で何もかも無くなった市街地に建つプレハブの飲食店で2年ぶりの再会を果たし、懇親を深めることが出来ました。大きくなった子供たちを見てびっくりさせられましたし、多くの方から感謝の言葉を頂き、この事業をやって良かったと実感いたしました。

次に、20年前の25周年記念事業で新種のバラ「プリンセスかのや」を寄贈するアイデアが出た時もそうでした。25周年記念事業部会で検討が行われた際、今までのような単なる記念品を贈呈するのではなく、永遠に語り継がれるような事業はないものかということになりました。当時、鹿屋では日本一のバラ園を目指して行政が仕掛けている最中でした。そこで、鹿屋にしかない

新種のバラを寄贈し命名できないものかとなりました。ちょっと自慢をさせてください。実は、このアイデアは私の発案でした。予算等を含め、どのように進めて行けば良いのか雲を掴むような話で実現できそうにないと思いながら意見を出しました。すると当時、若輩者の私の意見であっても尊重し、大先輩方が面白いとなり、翌日にはバラに詳しい先輩方が早速、千葉にあるバラの新種改良をされている会社に出向かれ道筋を作られました。これもそれぞれの専門分野の職業を通しての活動となりました。

このように事業が決まるまでは、紆余曲折あるものといったん決まったら、それぞれ会員が得意とする分野で誰彼となく走り出し、皆が必死に追いかけてサポートするのが、この鹿屋西ロータリークラブの伝統であり、強みでもあるように思います。

記憶に新しいところでは、コロナ禍で開催された風呂井ガバナ一年度の地区大会もコロナ感染拡大に伴い変更し次ぐ変更でしたが、当クラブの強みである柔軟に対応した機動力が発揮され、ストーリー性に富んだ内容のある地区大会になり、多くの方から賛辞をいただいたところです。

このように只今、紹介した各事業が当クラブを特徴づけている強みではないかと思っています。

そこで、クラブ戦略計画立案に向けて、昨年「会員満足度とクラブの強みと弱みについて」会員アンケートを取ったものがあります。先ほど報告しました当クラブの特徴的な事業を踏まえて説明させていただきます。

資料をご覧ください。

【アンケート資料】

長所短所で相反する意見もありますが、それぞれの意見を尊重しながら改善に取り組む必要があります。その中でも、一番の課題は会員増強ではないかと思っています。魅力あるクラブになれば、自ずと会員は増えていくと確信しています。伝統を築いてこられた過去の先輩方のご努力に報いるためにも、未来を創るのは、今ここにいる私たちの努めであると認識して、会員一人一人が問題意識を持って取り組んでいけたらと思っています。

以上で、発表を終わります。

大石博資さん

『フラット』

私のロータリー歴は18年になります。最近、私は何のためにロータリーに入会したのかを、振り返ることがあります。まだ結論に至っていませんが、漠然と思っているのは、ロータリークラブとは、友情を

育む所ではないかと感じています。
友情を育むには、共感を一緒にできる友達を見つけることだと思います。その為には、共に語り合い、共に行動し、共に酒を楽しむ事が必要です。

毎週の例会とか勉強会などで共に語り合い、奉仕活動で共に行動し、親睦で共に酒を楽しむロータリークラブは、うってつけです。

そこで、自クラブは、私にとってうってつけだろうかと思いついて振り返ってみたところ、

鹿屋西ロータリークラブは、ロータリアン歴、年齢、職業、学歴、職歴、男女の性別などに一切こだわらない、とって『フラット』な集まりであることに気づきました。とりわけ、共に酒を酌み交わす親睦では、一切のこだわりなく話し手の気持ちになり話を聞く風土があります。また、話し手と意見が合わない時には議論になることもあります。このような忌憚のない議論が出来るのは、利害関係の無い異業種の集まりが功を奏していることも、ロータリーの有難いところだと感じています。

私たちのクラブも、過去にフラットでない時期もありました。例えば、ロータリー歴の長い方が、新入会員の指導に当たり、「あなたたちは、勉強が足りない。もっとロータリーの事を勉強しなさい。」との指導です。

例会時の卓話とか家庭集会などを通じて日々の勉強プログラムは実行されているわけですが、それだけでは足りないの、さらに、精進しなさいとのご指導です。その時、私が感じたのは、会員がロータリーに求めるものは人それぞれで、私のように友達を見つけることが目的の人もあるので、「勉強が足りない」とのご指導は、勉強が足りていない自覚の有る私には、いささか耳の痛い話でした。

その後、数年が経過すると、新入会員とか女性会員の割合が増えるとともに、クラブの雰囲気も徐々に変わり、現状では、とてもフラットで居心地の良い関係になっています。

このフラットな雰囲気が、鹿屋西クラブの強みだと思っています。これからも、ロータリークラブで友情を育み友達を増やしたいと思っています。



◆スマイル報告 〈 13 件 〉

- 池ノ上ガバナー、歓迎会に参加させていただき感謝です。楽しい歓迎会でしたのでスマイル致します。
…………… 池ノ上ガバナー歓迎会参加一同
- 池ノ上ガバナー、公式訪問御苦勞様です。「世界に希望を生み出そう」の RI テーマについての明解なガバナーアドレス有難う御座居ました。公式訪問も折り返し、健康にはくれぐれも御留意下さい。
…………… 風呂井
- 池ノ上ガバナー、上村ガバナー補佐、佐藤地区幹事、

公式訪問を心から歓迎し、今後ますますのご活躍を祈念いたします。…………… 北山
○池ノ上ガバナー、上村ガバナー補佐、佐藤地区幹事、公式訪問ありがとうございました。…………… 王谷
○池ノ上ガバナーの公式訪問を心より歓迎申し上げますと共に、今後のご活躍をお祈り致します。…………… 山崎(隆)

○池ノ上ガバナー、上村ガバナー補佐、佐藤地区幹事、例会においで下さいましてありがとうございます。
…………… 遠矢

○池ノ上ガバナー、上村ガバナー補佐、佐藤地区幹事、本日は公式訪問有難うございました。「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」念頭に頑張ってください。
…………… 前田(数)

○池ノ上ガバナー、上村ガバナー補佐、佐藤地区幹事、公式ご訪問ありがとうございます。…………… 志村

○池ノ上ガバナー、上村ガバナー補佐、佐藤地区幹事、本日は公式訪問誠にありがとうございました。…………… 梅北

○池ノ上ガバナー、本日はようこそおいで下さいました。私も9月1日で68歳になりました。今後も宜しくお願いいたします。…………… 原田

○歓迎 池ノ上ガバナー。本日、鹿児島市内で会議の為、出席が叶わず残念に思います。来月の地区大会を楽しみにしています。…………… 下茂

○池ノ上ガバナー、本日はお越し頂きありがとうございます。…………… 久永

○池ノ上ガバナー、本日はお越しいただきありがとうございます。…………… 東濱

○本日のニコニコ BOX スマイルは 2,767 円です。
本日計 31,000 円 累計(一般) 85,000 円
(財団) 28,747 円 (米山) 25,792 円

***** ありがとうございました *****

病める地球に救いの手を
気候変動による世界各地の災害にロータリー会員が対応
国際ロータリーのゴードン R. マッキナリー会長とロータリー財団のバリー・ラシン管理委員長は、8月、**全ロータリー会員宛ての書簡**で次のようにつづりました。
「2023年7月は記録に残る歴史上で最も暑い月となり、今や、衰弱しつつあるこの地球全体に見舞い状を送るときが来たのかもしれませんが。しかし、これは敗北と絶望のメッセージではありません。世界のロータリーは、緊急支援を行うためにこの危機に立ち向かっています」
山火事や洪水、土砂崩れなどの被災者を救うため、世界各地のロータリー会員が行動を起こしています。
ロータリーニュースより

週報担当：西ノ原